

関労和歌山「いこいの森」

私たち関電労組は、結成50周年記念事業として、平成16年2月に「地球環境問題に対する意識高揚」「組合員と家族、地域との交流」を目的に、ボランティア要素も含めながら「関労ふれあいの森」を創設し、諸活動を展開して参りました。また、熊野古道周辺の景観保全や田植え体験などを通じて、平成22年5月には和歌山県が推奨する「企業のふるさと」構想について、和歌山県、田辺市、NPO熊野本宮と四者協定を締結しました。当初の10年契約が満了した後も、田辺市本宮町内で場所を移して、平成27年8月から新たに「関労和歌山いこいの森」として、和歌山県の「企業の森」構想に賛同し、関電労組和歌山地区本部として、ボランティア活動や、組合員の研修の場として活用しています。

関西電力労働組合の取り組み

【取り組み期間】

平成16年2月 ~ 令和6年2月現在 (20年)

【主なイベント】

- 若年層組合員を対象とした研修
- 組合員と家族を対象とした親子ふれあいツアー
- 労働組合役員を対象とした研修

【主な体験メニュー】

- ☆「ふれあいの森」「いこいの森」下草狩り
- ☆熊野古道・歴史散策ウォーク
- ☆熊野古道の道普請(道路修繕)
- ☆発心門地区での田植え体験
- ☆熊野川でのカヌー体験
- ☆ピザ窯を設置して、ピザ焼き体験 など



令和5年度 ユニオンルーキーズセミナー パートIIIを開催

令和5年10月28日(土)~29日(日) 田辺市本宮町にて、関西電力労働組合に加入後2年目の組合員を対象とした研修を開催しました。

(主な内容)

- ☆「関労和歌山 いこいの森」下草狩り
- ☆熊野古道・歴史散策ウォーク

